

〔第6学年〕

教科	課題等	具体的な方策	評価(時期または回数)
国語	言語事項についての学習が不十分である。	<ul style="list-style-type: none"> 小テストなどにより積み重ねて学習させていく。また、富谷漢字検定とも関連づけて漢字の学習を行う。 辞書を引く活動を多くさせ、使える語彙を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字検定(前後期) 漢字テスト(随時) 意味調べテスト(随時)
	話す力を伸ばす。聞く力を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> テーマを設定したスピーチを国語の時間や朝の会に年間を通して行い、話す力・聞く力を伸ばす。 友達の話した内容を受けて自分が話すというリレースピーチを行い、共通の話題で自分の考えを話す経験を積む。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業、朝の会(随時)
	長文を書く力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> 2ヶ月に1回、定期的に作文指導をする時間(2時間程度)を設ける。 創作ノートを作り、新聞記事やインターネットで得た情報の収集と考察、詩や物語などの創作をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> テーマ別作文800字程度(隔月) 創作ノート
	論理的思考を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習やトレーニングタイムで論理的な思考を伸ばすためのドリル学習や100～200字程度の要約に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ドリルプリント 小テスト(随時)
	本に親しんでいる。読解力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> 富ヶ谷図書館を定期的に利用する。 テーマを決めて読書をする機会を設ける。(年間3回程度)年間50冊。 新聞記事を要約させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 創作ノート 読書記録カード 要約文カード(随時)
社会	歴史の学習に興味をもち意欲的である。	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館・富ヶ谷図書館を定期的に利用するなどして、さらに広く興味関心をもたせていくようにする。 自分で 発展的に取り上げて調べる歴史上の人物を決め、人物カードを作成する。 	
	工夫してノートや新聞にまとめていく力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> ノート指導を丁寧に行う。また、友達のノートや新聞のよいところに気付き、取り入れていけるよう、互いに見 	<ul style="list-style-type: none"> ノート(随時) 新聞(随時)

	<p>資料を読み取る力を伸ばす。</p>	<p>合う設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフや表の見方を算数と関連させながら指導していく。 ・資料をそのまま写すのではなく、自分が理解できるように言い換えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞 (年6回以上) ・テスト(単元終了時)
算 数	<p>単純な計算力(四則計算)は身に付いている。</p>		
	<p>文章題を解く力を伸ばす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数直線や言葉の式、簡単な数値に置き換えるなど、立式にあたって根拠をもって考えるための具体的な手立てをもたせる。 ・問題解決の際に多様な方法で取り組ませるなど、友達の方法を紹介し合い、理解を深めさせる場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート、発言、テスト(随時) ・授業発表時
	<p>計算の時間を短縮し、単純な計算ミス減らす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない問題量から確実にできるようにさせ、しだいに量を増やしていく。特にわり算の筆算は個別支援を強化していく。 ・必ず見直しする習慣を身に付けさせる。 ・個別に対応し学習する場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・算数問題集(随時) ・ノート、プリント、テスト(随時・単元終了後) ・随時
	<p>数学的な考え方を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決にあたって、見通しをもって取り組むよう「解決方法の計画」を立てる場を設定し、習慣化する。 ・多様な問題解決方法に取り組ませるとともに友達の方法のよいところや共通点等について、話し合い、数学的に価値の高い方法を練り上げる場を設定する。 ・習熟度別に対応した課題を用意し、その指導にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート、テスト、プリント ・習熟度別学習
	<p>論理的な考え方を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決型の授業展開を定期的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、発言(月1回)
理 科	<p>観察や実験については意欲的に行う。</p>		
	<p>実験結果から科学的思考を十分に働かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験 結果 結果を通して分かったことの考察 検討 といった科学的考察の流れに沿った学習を多く取り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート、発言(随時) プリント

	<p>自然事象への関心を高める。</p>	<p>入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外観察回数を増やす。観察ノートの工夫。 ・観察等を通して気づいたことを互いに紹介しあう場を随時設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察ノート ・観察時
音	<p>目標をもって活動に取り組み、互いに学び合いながら学習を進めることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パートや集団意識を高め、協調性をもって活動できるように助言する。 	
楽	<p>音量やバランスのとれた合奏をつくるのが難しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞や節奏の聴き方や音の重なりや役割を考えて聴く活動を増やす。構成や仕組みなどを楽譜から読み取れるように指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏の聴取 ・発言聴き取り
図	<p>既習の事や自分の経験を生かし、材料などからの特徴をもとに発想することができる。 工具を安全に正しく使う。</p>		
工	<p>紙の質や色、目的に応じて、いろいろな方法で水彩絵の具を扱うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの経験を思い出させる言葉かけをする。目的や色に応じて混ぜる水の量によっては、仕上がりの感じが違うことに気付せる。 ・調節する経験のできる題材を用意する。 ・テーマに沿って自分に合った表現方法を、経験した用具材料の中から選び出して最も効果的に表現できるよう指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター ・版画 ・墨絵 ・写生画
	<p>ものの位置と関係を見ることができ、合理的に仕上げていくことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・濃淡や線の強弱で色や位置を表す方法を知る。 ・どこから描けば楽に仕上がっていくか、位置や色の関係などを具体的な例を挙げ、自分の作品ではどうなのか児童に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター ・版画 ・墨絵 ・写生画
家	<p>実習は積極的かつ意欲的に行い、出来上がりもよ</p>		

庭	<p>い。</p> <p>衣食住について、よりよい生活を目指して創意工夫する。</p>	<p>・自分の生活との相違点をよく比較させ、具体策を出させる。それを生活の中で実践させていく。</p>	<p>・ノート、発言(随時) プリント、感想</p>
体 育	<p>運動に対する関心は高い。</p> <p>基本的な運動の力を伸ばす。</p> <p>自主的に運動能力を高める機会や課題意識をもつ。</p>	<p>・体ほぐしの時間の強化。また、初めての10分程度に重点的指導項目を立て、実践していく。</p> <p>・さまざまな運動に取り組みせ、運動能力を高める。</p> <p>・めあてをもたせ、達成する喜びを十分に味わわせる。</p>	<p>・教師記録</p> <p>・学習カード</p> <p>・ワークシート</p> <p>随時</p>